

## 専門的な看護の実践・指導・相談を 活発に活動していきたい

私は耳原総合病院に就職してから、外科病棟に所属しています。外科病棟では手術はもちろん、抗がん剤治療を受ける患者様もおられます。抗がん剤治療は、同じ疾患であっても使用する薬剤の種類や投与方法が違い、複雑である上に正確な投与管理を要します。また患者様は、がん告知をはじめ、治療の副作用といった、様々な不安、苦痛を抱えながら、日常生活を送られます。私はこのような中で、少しでも抗がん剤治療を受ける患者様の心理的、身体的、社会的な苦痛を緩和し、安全な治療を受けられるように携わりたいと思い、資格を取得いたしました。

がん化学療法看護認定看護師は、おもに抗がん剤化学療法を受けられる患者様を対象としています。がん患者様は、がん告知から治療、治療終了や、治療を断念せざるを得ないなど、様々な場面で選択を余儀なくされます。治療は日進月歩で複雑であり、治療費も高額です。治療費が工面できず、治療を断念せざるを得ない場面もあります。様々な情報が飛び交う中、どの選択が一番よいのかと日々悩ま

れ、「がんサバイバー」として生きられます。治療が終了したとしても、その不安は払拭されることはありません。私は、副作用緩和はもちろん、患者様の気持ちに寄り添い、一人ひとりが様々な場面において選択できるよう、一助となればと思っています。

また活動を行う中で大切に思っていることは、看護ケアは私一人で行えることではないということです。看護師は抗がん剤の投与管理や、患者様の副作用症状を伺う場面に一番近い存在であり、各部署の看護師の協力が必要不可欠です。その為、安全な投与管理や副作用に関しては学習会の開催や、研修に携わっています。そして、その人らしい生活ができるよう、少しでもよりよいケアを提供できることを目標とし、医師、薬剤師、ケースワーカーなど他の職種との協力、情報共有を行いながら活動しています。私はそのチームメンバーを誇りに思っています。これからも、患者様へ寄り添い、多職種と協働しながら活動していきたいと思っています。

がん化学療法看護  
認定看護師  
西嶋 綾



## 奨学金制度のご案内

耳原総合病院が所属する大阪民主医療機関連合会(略称:大阪民医連)では、将来地域に根ざした民医連の医療を担う意志をもった学生が、学生時代により幅広い視野を育て、人間性豊かな医師として成長できるように、経済的にも援助を行うための奨学金制度を設けています。詳細はお気軽にお問い合わせください。

### 奨学金貸与額

(医学生・月額)

1・2年 50,000円  
3・4年 60,000円  
5・6年 70,000円

### 。奨学生活動のとりくみ。

#### ▶ 医療現場を体験できます!

実際に医療の最前線である臨床の現場を体験していただくため、低学年から高学年まで幅広く病院実習を受け入れています。実際の医療現場に身をおく中で「どんな医師になるか」「どんな医療ができるのか」を感じる機会になればと思います。

#### ▶ 医療情報・制度について学べます!

定期的実施される医学生ミーティングや学習企画に参加して、その時々々の医療の問題や関心事と一緒に共有しながら学びあいます。「患者目線の医療って?」「背景をみるとどうなる?」そういった疑問を職員、学生、時には地域の方も含めて学びあいます。

#### ▶ 全国の学生・先輩スタッフと出会えます!

全国から数百名もの医学生・職員が集まり、企画「医学生をつどい」を運営、参加いたします。地域や職種、環境が全く違う人間同士が地域や職種、年齢の壁をこえて、その時々々のテーマについてディスカッションやフィールドワークを、交流をする中で様々な思いを受け止め、視野を広げ、考えを深める事ができます。

耳原総合病院 医局・医学生担当

Tel.072-241-0501 E-mail:igakusei@mimihara.or.jp

## 塩麴鍋

栄養価(1人分) エネルギー248 kcal、塩分3.2g

食材をやわらかくし、うまみ成分を引き出すことで人気の塩麴。鍋料理においてもその力を存分に発揮してくれます。



鶏肉以外の肉や魚でも、あらゆる野菜でもお試しください。お好みどうぞ。

### ■材 料(2人分)

鶏もも肉……………200g 白葱……………100g 水……………800cc  
 ※塩麴(肉の重量の20%強)…50g 南瓜……………120g にんにく……………1かけ  
 酒……………大さじ2 えのきだけ…100g 土しょうが……………1/2個  
 春菊……………150g もめん豆腐…150g 七味唐辛子、粒こしょう、ゆず等…適量

※塩麴の種類によって塩分が異なりますので、味を見ながら調整してください。

### ■作り方

- ①鶏肉は余分な皮を取り除き、食べやすい大きさに切る。ビニール袋等に入れ、塩麴を加えてよく揉み込み、最低30分ほど漬けておく。
- ②鍋に水、薄切りにしたにんにくとしょうが、ほぐしたえのきだけ、①を塩麴ごと入れて火にかける。こまめにアクを取りながら鶏肉に火が通るまでコトコトと煮込む。
- ③食べやすい大きさに切った野菜と豆腐を加えてさらに煮込む。
- ④好みの薬味とあわせていただく。

残ったスープを濾して中華麺と薬味を加え、塩ラーメン風としていただくのもおすすめです。

お困りの方、是非ご利用ください

### がん相談窓口

がんに関することなら何でもお話しください

- ▶ 相談日 月～金曜日(土日祝日除く)
- ▶ 受付時間 午前9時から午後4時
- ▶ 受付場所 耳原総合病院 1F 総合案内(すぐに担当事務におつなぎします。)
- ▶ 費用 無料

ご相談の流れ アンケートご記入・受付事務によるお聞き取り 専門職へおつなぎし、ご相談(後日の場合有)

相談スタッフ 認定看護師(がん化学療法看護・皮膚排泄ケア(WOC)認定)・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー

看護師 助産師 募集中!!

私たちと共に、安全・安心の医療を目指しませんか?

応募資格 看護師・助産師の有資格者、来春資格取得見込みの方  
勤務地 同協会 関連施設

※詳細については下記まで、お問い合わせください。  
社会医療法人 同協会 耳原総合病院 師長室(大蔵)  
〒590-8505 堺市堺区協和町4-465 TEL.072-241-0501



## 耳原総合病院 健診課 TEL.072-241-0501(代表) FAX.072-241-0520

### ■日曜健診実施日程

実施日(要予約)	健診内容	対象
2013年		
2月10日	日曜特定健診	一般・友の会
2月24日	日曜人間ドック	一般・友の会
3月10日	日曜特定健診	一般・友の会
3月24日	日曜人間ドック	一般・友の会

以降のスケジュールについては健診課にお問い合わせください。

### ■日曜人間ドック(半日ドックコース)

	非会員価格	友の会会員価格
男性	30,450円	27,300円
女性	31,500円	28,350円

### ■堺市国保人間ドック

	価 格
男性	12,000円
女性	12,900円

※「友の会会員価格」とは健康友の会のみはらの会員のみなさまの健康管理のお力になれるよう、健診料金の一部を健康友の会のみはらより助成しております。

人間ドックの検査内容、平日の受診などにつきましては、健診課までおたずねください。

## 耳原総合病院 地域医療課

各医療機関様 専用 直通ダイヤル  
TEL. 072-241-0324  
FAX. 072-241-0208

■「診察・入院申込書」「検査申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。  
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。

■予約当日、患者様が受診の際にご持参いただくもの  
①保険証 ②診療情報提供書 ③上記予約票  
※上記の3点をご持参ください。



「ばーとなー」VOL.130 2月号 2013年2月10日発行

発行人 奥村伸二 発行 社会医療法人 同協会 耳原総合病院 地域医療課  
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地  
TEL 072-241-0501(代表) TEL 072-241-0324(直通)  
URL http://www.mimihara.or.jp/sogo/

2013.2.FEB  
VOL.130

General hospital MIMIHARA



# ばーとなー

### 基本方針 ■ 2015ビジョン

「いのちの平等をかかげ、大阪南部になくはない保健・医療・介護・福祉の複合体として、24時間365日、安全・安心・信頼の事業体とまちづくりを進めている」

### 理念 ■ 耳原総合病院はこんな医療をめざしています

- 安全、安心、信頼の医療
- 無差別、平等の医療
- 患者負担の少ない医療
- 地域とともに歩む専門職の育成
- 差額ベッド代はいただきません

## 2013年 同協会グループ 新年集会開催

社会医療法人同協会 専務理事 穴井 勉

新年明けましておめでとうございます。大晦日を病院で過ごした急性期担当のみなさん、元日に訪問サービスを提供した介護分野のみなさん等、年末年始に勤務となった職員のみならず、本当にお疲れさまでした。現場での奮闘が、同協会の掲げる2015ビジョン「24時間365日安全安心信頼の事業をすすめる」を日々実体化している事に、あらためて感謝します。

お忙しい中ご参加頂いた健康友の会のみはらの仲間のみならず、地域をはじめとする関係諸団体のみなさまには、日ごろのご支援とご援助に対し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

2012年は、42年ぶりに日本の原子力発電が停止した年でした。多くの市民が自分で考え、立ちあがりました。再稼働とはなりませんが、命を守る事業をすすめる私たちは、あきらめる事なく原発をなくす取り組みを続けていきたいと思います。

医療・介護の取り組みでは、無料低額診療が前年比で倍化となる400万円以上の利用へと広がりました。セラチア院内感染事例を風化させない取り組みである医療介護安全大会は、宮城・坂総合病院の佐々木先生をお招きし、過去最高の438名の参加で大きく成功させました。地域包括ケアを支える西第3地域包括センターがオープンし、総合病院は地域医療支援病院の認定を頂きま

した。各分野での信頼を広げる中で、経営的にも大きく前進した年ともなりました。

2013年は、新病院の立体駐車場が5月に完成し、7月には社会福祉法人や薬局法人と共同して運営するサービス付高齢者住宅がオープンとなります。社会保障を切り縮めようとする動きの中で、地域住民のみならず、行政関係の方々、

地域の医療機関や開業医さんとのつながりを強め、地域を支える協同の輪を広げていく事がより大切となります。地域医療支援病院としてスタートする耳原総合病院の前進とは、地域の安心が広がることでなくてはなりません。自院や自法人へと視野を狭めることなく、地域に目を向け、協同の輪の中での自分たちの役割は何なのかをすべての事業所が再確認し、その上で2013年度の事業計画や3カ年計画の立案作業をすすめます。

2014年11月には新病院本体部分が完成、2015年には維持透析やRI検査機能を持った新病院がオープンします。医療情勢への対応や地域ニーズに応えるためには、自らの事業の形を恐れずに変え、「命の平等」という創立以来変わらない理念と役割はしっかりと堅持し、次代を担う医療・介護スタッフを地域の協同で育みながら、より地域へ貢献できる同協会・耳原病院として前進していきましょう。



友の会会長 森島嘉之氏

齊藤和則副院長

来賓あいさつの清水ただし氏

司会 牧 友英・春木康子

和太鼓サークル「拓」